

第 60 回オール横浜コンテスト 規約

(注) 得点および注意事項(7),(9)が今回改定されています

共 催：JARL横浜クラブ・横浜市アマチュア無線非常通信協力会（YAMと略す）

日 時：2008 年 8 月 17 日（日曜日） 05:00～07:00(JST)

参加資格：日本国内のアマチュア無線個人局（クラブ局 および ゲスト OP は不可）

使用周波数：28MHz 帯（CW：28.050～28.080MHz、 SSB：28.600～28.850MHz）

参加部門：市内電信、市内電話、市内複合(電信電話)、市外複合、

複合参加として 一般団体対抗、YAM 非常通信協力会支部対抗を設ける

交信方法：呼出； 電信「CQ YC」、電話「CQ 横浜コンテスト」

コンテスト NR； RS(T)+区コード番号（区コード番号表参照）

交信相手：横浜市内局は横浜市内および横浜市外局との交信が有効、市外局は横浜市内局のみ有効

得 点：完全なる交信において 電話 1 点、 電信 2 点（特例あり、別紙参照）

マルチ： 横浜市内局：行政区+市外（最大 19 マルチ） 市外局：市内行政区のみ（最大 18 マルチ）

総得点：（得点の和）×（マルチの和）

注意事項：(1) 自局無線局免許範囲で運用のこと

(2) ログ・サマリーシートは JARL 制定または同等様式(用紙 A4)を使用のこと

(3) 参加部門をサマリーシートに明記のこと（エントリーは 1 部門のみとする）

(4) 運用場所は 1 ヶ所とし移動局はサマリーシートに必ず町名まで明記のこと

(5) 移動局との交信でログに移動の明記の無いものは無効（例 /1）

(6) 市外局同士の交信は得点にならない

(7) 電信および電話の重複交信を有効とする

(8) 一般団体対抗、YAM 非常通信協力会支部対抗に参加される局は個々の団体、支部名をサマリーの「登録クラブ対抗」欄に明記のこと、両対抗の参加を可とし両方に個人得点が加算される（記入例、一般団体：XXX クラブ、非常通信：XXX 支部）

(9) E-mail によるログの提出は JARL 形式(本文貼付)を原則とする、ただし今回に限り Excel 作成(サマリー、ログ)も受け付ける（Cabrillo 形式等は不可）

メール件名は必ず「横浜コンテスト」+「コールサイン」とする(横浜コンテスト JA1XXX)
「JARL コンテスト電子ログ作成ツール」下記の URL 参照

http://www.jarl.or.jp/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/elogmaker.htm

（JARL 形式を原則とした理由は集計作業の効率化のためで、ご協力下さい）

(10) 新人賞は、開局 5 年未満の再免許申請をしていない局が対象、但し再開局は除く

(11) その他の規則は JARL コンテスト規約に準じる

提出先：郵送の場合； 〒226-0005 横浜市緑区竹山 2309-914 「コンテスト係」入谷 雅久

E-mailの場合； ja1cp@jarl.com（E-mail受領に対しその旨返信する）

郵送にてログ提出される方でサマリーE-mail 欄にアドレス記載があれば受領返信する

締 切：2008 年 9 月 10 日（当日消印有効）

表 彰：市内複合、市内電信、市内電話、市外複合、YAM 非常通信協力会対抗、一般団体対抗の各部門 上位 3 位まで表彰、新人賞、特別賞を用意

ドナー募集：コンテストを盛り上げるため賞品提供を募集しております、コンテスト係へ連絡下さい

『区コード番号表』

鶴見区	01	南区	05	港北区	09	緑区	13	青葉区	17
神奈川区	02	保土ヶ谷区	06	戸塚区	10	瀬谷区	14	都筑区	18
西区	03	磯子区	07	港南区	11	栄区	15		
中区	04	金沢区	08	旭区	12	泉区	16	市外	00

別 紙

今年はJARL横浜クラブ創立60年、また本コンテストも第60回の節目にあたります。

上記を記念し次の特例事項を設けました。

1. JARL横浜クラブ局「JA1YCS」を運用、交信された局には次の得点を与える。
電信、電話に関係なく 5点
2. 横浜市内、市外を問わず 2文字局と交信した場合、次の得点を与える。
電信、電話に関係なく 3点
3. 多くの2文字局に参加して頂くため2文字局(市内、市外)の得点に20%を加算する。

以上